



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 エバラ食品工業株式会社

コード番号 2819 URL <http://www.ebarafoods.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 遵

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高井 孝佳 TEL 045-314-0121

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	38,663	△1.8	2,104	△19.2	2,103	△20.7	1,140	△7.2
24年3月期第3四半期	39,383	1.0	2,603	5.8	2,650	2.7	1,228	△12.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,137百万円 (△8.0%) 24年3月期第3四半期 1,236百万円 (△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	110.04	—
24年3月期第3四半期	115.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	31,403	17,942	57.1	1,961.85
24年3月期	31,566	19,155	60.7	1,805.46

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,942百万円 24年3月期 19,155百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,678	1.2	1,874	1.9	1,879	2.2	1,053	61.4	104.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成24年11月に実施した自己株式の取得に伴い、期中平均株式数を見直し、1株当たり当期純利益予想は変更しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	12,398,400株	24年3月期	12,398,400株
25年3月期3Q	3,252,649株	24年3月期	1,788,848株
25年3月期3Q	10,364,253株	24年3月期3Q	10,610,897株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな景気回復の動きが見られ、12月の政権交代を契機に円安傾向が進み輸出企業を中心とした収益改善の期待は高まっておりますが、欧州政府債務危機や新興国経済の成長鈍化、デフレの長期化等の懸念は根強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品業界におきましても、消費者の低価格志向や節約志向が継続しており、経営環境は厳しい状況にあります。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、“たれ・素・スープ”を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。4月からスタートしたフェイスブックをはじめとするお客様とのコミュニケーション促進活動に加え、ホームページのリニューアルや多様なメディアとのリレーション作りに注力する等、情報発信力を高める取り組みにより、当社商品の認知向上及びエバラブランドの価値向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、386億63百万円（前年同期比1.8%減）となりました。その主な要因としては、『具だくさん焼肉のたれ』が前年を下回る水準となったこと、及びチルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響が挙げられますが、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日～平成24年12月31日）においては、鍋物調味料群が豊富な品揃えと積極的な売場へのアプローチが奏功したことにより力強く業績を牽引し、増収となりました。

利益面についても、売上高が前年同期を下回った影響等により、第3四半期連結累計期間では前年同期の水準に至らなかったものの、好調な鍋物調味料群を軸とした売上増加と原材料価格の抑制等による原価率低減により、第3四半期連結会計期間では増収増益となり、利益面での回復傾向も見られました。その結果、営業利益は21億4百万円（前年同期比19.2%減）、経常利益は21億3百万円（前年同期比20.7%減）、四半期純利益は11億40百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

#### (食品事業)

家庭用商品は前年同期売上高を下回りました。

肉まわり調味料群は、肉消費の底上げを図る施策を展開した『黄金の味』が安定した売上げを見せたものの、前年の勢いが鈍化した『具だくさん焼肉のたれ』の影響等により前年同期売上高を下回りました。鍋物調味料群については、既存商品の戦略的なプロモーションと『ちゃんこ鍋の素』等のベーシックな味の商品や『ラーメンスープ鍋の素』等のバリエーション豊かな品揃えにより鍋物調味料群全体の売上げを押し上げ、10月下旬から冬の寒さが本格化した環境要因もあり、前年同期売上高を上回りました。特に、『すき焼のたれ』は引続き好調に推移しており、『キムチ鍋の素』については、消費者の嗜好を反映したリニューアルとメディアを活用したプロモーションが奏功したことにより、大きく売上げを伸ばしました。また、8月に発売した『韓国チゲの素』も順調な売れ行きを見せております。野菜まわり調味料群については、『浅漬けの素』の勢いに一服感が出たこともあり前年同期売上高を下回りましたが、前々期以上の水準で堅実に推移しております。その他群については、チルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響等により前年同期売上高を下回りました。

業務用商品につきましては、海外事業の伸長により肉まわり調味料群が前年同期実績を上回りましたが、スープ群及び特注品の減少等が影響したその他群が前年同期実績を下回った結果、前年同期売上高を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は344億2百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、物流事業は前年同期実績を下回りましたが、広告宣伝事業及び人材派遣事業がいずれも前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は42億61百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び商品群名	前第3四半期連結累計期間 (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
食品事業	35,427	34,402	△2.9
家庭用商品	28,469	27,662	△2.8
肉まわり調味料群	13,986	13,362	△4.5
鍋物調味料群	8,592	9,191	7.0
野菜まわり調味料群	4,454	4,164	△6.5
その他群	1,436	943	△34.3
業務用商品	6,958	6,739	△3.1
肉まわり調味料群	2,108	2,112	0.2
スープ群	2,683	2,642	△1.5
その他群	2,166	1,984	△8.4
その他事業（広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業）	3,955	4,261	7.7

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し1億62百万円減少して314億3百万円となりました。これは主に、投資有価証券が1億39百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10億49百万円増加して134億61百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億87百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億12百万円減少して179億42百万円となりました。これは主に、利益剰余金が8億54百万円増加したものの、自己株式が20億64百万円増加したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ36億10百万円減少して24億61百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、11億50百万円（前年同四半期は8億85百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益において20億54百万円獲得した一方、売上債権の増加39億9百万円による減少等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億57百万円（前年同四半期は7億34百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入5億36百万円と、定期預金の預入による支出3億18百万円等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、21億円（前年同四半期は37百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出20億66百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、平成24年11月に実施した自己株式の取得に伴い、期中平均株式数を見直し、1株当たり当期純利益予想は変更しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,987千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,763,209	3,070,924
受取手形及び売掛金	9,152,079	13,060,319
有価証券	700,112	550,018
商品及び製品	1,303,569	1,139,869
原材料及び貯蔵品	438,829	451,075
繰延税金資産	427,474	426,762
その他	552,138	728,016
貸倒引当金	△4,375	△1,261
流動資産合計	19,333,038	19,425,724
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他(純額)	5,167,244	5,148,804
有形固定資産合計	8,176,076	8,157,636
無形固定資産		
349,325		337,340
投資その他の資産		
投資有価証券	1,994,026	1,854,212
長期貸付金	10,791	6,699
繰延税金資産	1,008,265	1,008,143
その他	751,500	670,467
貸倒引当金	△56,526	△56,530
投資その他の資産合計	3,708,057	3,482,992
固定資産合計	12,233,459	11,977,969
資産合計	31,566,497	31,403,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,063,419	6,550,714
短期借入金	166,404	416,601
未払金	1,419,476	1,235,075
未払法人税等	533,319	457,446
賞与引当金	270,941	141,937
販売促進引当金	485,714	779,457
その他	389,033	733,737
流動負債合計	9,328,309	10,314,969
固定負債		
退職給付引当金	2,842,615	2,904,491
資産除去債務	11,563	11,685
その他	228,867	229,997
固定負債合計	3,083,046	3,146,174
負債合計	12,411,356	13,461,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,866,080	18,720,150
自己株式	△1,860,411	△3,924,430
株主資本合計	19,048,061	17,838,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,277	124,443
為替換算調整勘定	△17,197	△20,006
その他の包括利益累計額合計	107,079	104,437
純資産合計	19,155,141	17,942,549
負債純資産合計	31,566,497	31,403,693



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	39,383,664	38,663,828
売上原価	20,096,627	19,626,153
売上総利益	19,287,036	19,037,675
販売費及び一般管理費	16,683,415	16,933,334
営業利益	2,603,621	2,104,340
営業外収益		
受取利息	17,139	9,505
受取配当金	23,927	25,065
受取賃貸料	28,215	14,857
保険解約返戻金	5,753	22,893
その他	31,445	24,187
営業外収益合計	106,482	96,509
営業外費用		
支払利息	2,671	2,854
持分法による投資損失	55,062	91,521
その他	1,843	3,420
営業外費用合計	59,576	97,796
経常利益	2,650,527	2,103,053
特別利益		
固定資産売却益	713	80
投資有価証券売却益	—	591
災害損失引当金戻入額	11,838	—
特別利益合計	12,552	671
特別損失		
固定資産除却損	14,773	43,443
投資有価証券評価損	10,341	3,447
その他	—	2,129
特別損失合計	25,115	49,020
税金等調整前四半期純利益	2,637,964	2,054,704
法人税等	1,408,998	914,177
少数株主損益調整前四半期純利益	1,228,966	1,140,527
四半期純利益	1,228,966	1,140,527

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,228,966	1,140,527
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	21,140	166
為替換算調整勘定	△13,534	△2,808
その他の包括利益合計	7,606	△2,642
四半期包括利益	1,236,572	1,137,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236,572	1,137,885
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,637,964	2,054,704
減価償却費	895,540	836,629
固定資産除却損	14,773	43,443
固定資産売却損益(△は益)	△713	△80
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△591
投資有価証券評価損益(△は益)	10,341	3,447
貸倒引当金の増減額(△は減少)	266	△3,109
退職給付引当金の増減額(△は減少)	129,557	61,876
賞与引当金の増減額(△は減少)	△95,110	△129,004
販売促進引当金の増減額(△は減少)	228,661	293,743
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△56,968	—
受取利息及び受取配当金	△41,066	△34,571
支払利息	2,671	2,854
持分法による投資損益(△は益)	55,062	91,521
売上債権の増減額(△は増加)	△4,748,004	△3,909,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	191,880	151,089
仕入債務の増減額(△は減少)	723,099	487,557
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,577	55,968
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,720	—
未払金の増減額(△は減少)	50,439	△177,826
その他	132,187	△25,627
小計	117,284	△197,066
利息及び配当金の受取額	40,881	34,915
利息の支払額	△2,671	△2,854
法人税等の支払額	△1,040,910	△985,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	△885,416	△1,150,882
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	7,125	9,560
貸付けによる支出	△8,300	△800
定期預金の払戻による収入	51,100	536,000
定期預金の預入による支出	△678,067	△318,032
投資有価証券の売却による収入	—	1,938
投資有価証券の償還による収入	350,000	—
投資有価証券の取得による支出	△6,518	△6,771
有価証券の償還による収入	1,390,143	800,000
有価証券の取得による支出	△899,770	△699,800
有形固定資産の売却による収入	927	—
有形固定資産の取得による支出	△644,504	△633,080
無形固定資産の取得による支出	△43,320	△90,640
関係会社株式の取得による支出	△250,000	—
ゴルフ会員権の取得による支出	△3,500	—
その他	—	43,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△734,685	△357,698

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,197	250,197
配当金の支払額	△285,116	△284,746
自己株式の取得による支出	△2,253	△2,066,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,172	△2,100,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△800	△824
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,658,074	△3,610,212
現金及び現金同等物の期首残高	5,935,101	6,071,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,277,026	2,461,162

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	35,427,696	3,955,967	39,383,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	35,427,696	3,955,967	39,383,664
セグメント利益	2,696,751	174,687	2,871,439

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,696,751
「その他」の区分の利益	174,687
全社費用（注）	△267,818
四半期連結損益計算書の営業利益	2,603,621

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	34,402,477	4,261,351	38,663,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	34,402,477	4,261,351	38,663,828
セグメント利益	2,315,453	111,476	2,426,930

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,315,453
「その他」の区分の利益	111,476
全社費用（注）	△322,589
四半期連結損益計算書の営業利益	2,104,340

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、当該決議にかかる取得を平成24年11月13日(約定日ベース)に完了しました。この結果、当第3四半期連結会計期間において自己株式が2,062,830千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は3,924,430千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。